

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【公開番号】特開2007-215578(P2007-215578A)

【公開日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2007-033

【出願番号】特願2006-36470(P2006-36470)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/02 3 5 0

A 6 1 F 13/02 3 9 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月16日(2009.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

吸脂性基材と、

前記吸脂性基材上にパターン状に配置された粘着剤層を含む、粘着性物品。

【請求項2】

前記吸脂性基材の面積に対し、前記粘着剤層が存在しない領域の面積が、15～75%である、請求項1記載の粘着性物品。

【請求項3】

前記吸脂性基材は、多孔質延伸プラスチックフィルム又はメルトブローン不織布である、請求項1または2記載の粘着性物品。

【請求項4】

前記吸脂性基材は、その基材の単位面積当たりの空隙体積が、次式：単位面積当たりの空隙体積 = [基材の厚さ(cm) × 1(cm) × 1(cm) × 空孔率(%)] ÷ 100(ここで、空孔率は、基材中に占める空孔の割合である)で計算して、0.0001～0.005cm³である、請求項1～3のいずれか1項記載の粘着性物品。

【請求項5】

前記粘着性物品は医療用粘着テープである、請求項1～4のいずれか1項記載の粘着性物品。

【請求項6】

ホットメルトダイコートィングによってパターン状の粘着剤層を吸脂性基材上に形成する工程を含む、請求項1～5のいずれか1項記載の粘着性物品の製造方法。